

Social

社会

10. 非財務価値の充実

SDGsへの
取り組み
項目





当社は、ESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する全社戦略策定と推進を担う専門部署を設置し、当社のESGのあるべき姿を議論し、外部専門家から提言・助言を受けるサステナビリティアドバイザリーボードを開催しています。年に一度、CEOをはじめESGに関わる役員・社員が一堂に会してサステナビリティについて議論し、社外アドバイザーから助言をいただいています。2021年度は、経済安全保障やアフリカビジネスをメインの議題としました。全社を挙げて非財務価値の充実に積極的に取り組むことにより、企業価値を向上させ、患者様貢献を果たしてまいります。

(1) ESG・SDGsへの取り組み

SDGs達成への取り組みと企業価値創造

| 企業価値創造への関与 | 重要課題 | 該当するSDGs |
|-------------------|--|----------|
| 企業価値を 直接生み出すもの | <ul style="list-style-type: none"> 革新的な医薬品の創出 医薬品の提供にとどまらないソリューションの提供 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 戦略的パートナーシップ | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 医薬品アクセス向上への取り組み | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 製品の安定供給と品質保証 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社員への働きがいの醸成および能力開発機会の提供 社員の健康のサポートと安全衛生管理 ダイバーシティの推進 | |
| 価値創造を 支えるもの | <ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの体制 コンプライアンス・リスク管理 知的財産の保護・強化 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 適正な価格の実現 財務戦略 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンマネジメント 人権に配慮した事業活動 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 地球環境に配慮した事業活動 | |

| 企業価値創造への関与 | 重要課題 | 該当するSDGs |
|--------------------------|---|---|
| 企業価値を 生み出す 土台となるもの | <ul style="list-style-type: none"> ● 製品の安全性マネジメント ● 倫理性と透明性を確保した創薬活動 |  |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンスに則ったプロモーション ● 情報開示 ● 贈収賄・汚職の防止 ● 偽造医薬品への対応 |  |

充実したガバナンスのもとで、地球環境保全や社会的課題の解決に向けて積極的に取り組み、持続可能な社会実現への貢献をめざすとともに、企業価値の向上に努めています。また、中期経営計画「EWAY Future & Beyond」において、日常と医療の領域で生活する人々の「生きざるを支える」ことをめざして取り組んでいます。これらの取り組みは、貧困や飢餓、健康や福祉といった問題から、働きがいや経済成長、男女平等、環境問題に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を解消し、2015年9月に国連サミットで採択された17の目標からなるSDGsの達成にもつながるものと考えています。

(2) 人権尊重への取り組み

当社は、国際規範に準拠して2019年に制定した「ENW*人権方針」に則り、自社の事業とサプライチェーンにおいて、当社の事業活動がステークホルダーズの人権に負の影響を及ぼす可能性のあるリスクを特定し、回避・最小化し、モニタリングし、結果を開示する人権デュー・デリジエンスを継続して実施しています。社内においては、研修、e-ラーニング、標語の募集等の啓発活動を通じて、あらゆる種類の差別やハラスメントの防止や個人情報管理の徹底に取り組んでいます。また、サプライチェーンについては、サステナブル調達を通じて、取引先の人権に関する取り組み状況から、人権課題の把握に努めています。2021年度は、これらの活動に加え、人権尊重の観点から、国内外のCOVID-19感染防止の支援にも注力しました。



当社ウェブサイト「人権の尊重」をご参照ください。

▶ https://www.eisai.co.jp/sustainability/employee/human_rights/index.html

当社ウェブサイト「イーザイネットワーク（ENW）人権方針」をご参照ください。

▶ https://www.eisai.co.jp/sustainability/employee/human_rights/pdf/Human%20Rights%20Policy_J.pdf

* ENW (Eisai Network Companies) とは、イーザイ株式会社および子会社と関連会社で構成されている企業グループのことです。

(3) サステナブル調達

企業には、サプライチェーン全体で、人権、労働・安全、環境、倫理などのサステナビリティを重視した調達活動（サステナブル調達）が求められています。サステナブル調達により、サプライチェーンにおける人権侵害や環境問題の発生を未然に防止し、堅固で持続可能なサプライチェーンを構築することが可能になります。こうした活動は、業界全体と取り組むことが、効率的かつ効果的であることから、当社は、製薬・ヘルスケアセクターのグローバルNPOであるPSCI (Pharmaceutical Supply Chain Initiative) に加盟しました。PSCI加盟企業が採用するPSCI共通のサプライヤー行動規範を当社の「ビジネス・パートナーのための行動指針」に取り入れるとともに、業界のサプライチェーンにおける人権や環境課題を共有しています。2021年度は、国内工場のサプライヤーを対象として、取引先説明会を開催し、サステナビリティへの取り組みの重要性に理解を求めるとともに、「ビジネス・パートナーのための行動指針」への同意書の取得と第三者機関によるサステナビリティ評価を実施しました。



当社ウェブサイト「サステナブル調達」をご参照ください。

▶ <https://www.eisai.co.jp/sustainability/partner/sustainableprocurement/index.html>

(4) 医薬品アクセス改善に向けた取り組み

当社グループは、グローバルな医薬品アクセスの課題解決への取り組みを、我々の責務であるとともに、将来への長期的な投資であると考え、政府や国際機関、非営利民間団体等との官民パートナーシップのもと、積極的に推進しています。

執行役からのメッセージ

当社はSDGsの中でも「医療較差の是正」に注力しており、リンパ系フィラリア症（LF）治療薬の無償提供を含む医薬品アクセスの改善に向けた長期的な取り組みは一丁目一番地と考えています。また、熱帯病治療薬の研究開発においてもGHIT Fund*、非営利研究組織、アカデミアなどとのパートナーシップにより豊富なパイプラインを構築し、開発を推進しています。COVID-19により世界的に熱帯病の制圧が遅れる中で、現地で活動する方々と連携し、安全な制圧活動に必要とされるマスクや消毒薬などの支援も積極的に行っています。熱帯病の制圧活動は多様なステークホルダーズとの共闘により着実に成果を出しています。引き続き世界の「日常と医療の領域で生活する人々」へ我々の製品と希望を届けられるよう取り組んでまいります。



執行役
チーフIRオフィサー
佐々木 小夜子

パートナーシップで社会課題(グローバルヘルス課題)に取り組んできた10年の成果

● リンパ系フィラリア症(LF)の制圧

開発途上国および新興国に蔓延する顧みられない熱帯病(NTDs)の一つであるLFの治療薬「DEC(ジエチルカルバマジン)錠」をインド・バイザッグ工場で製造しています。そして、本剤を必要とするすべての蔓延国において制圧が達成されるまで、世界保健機関(WHO)に「プライス・ゼロ(無償)」で提供します。2022年3月末までに29カ国に20.5億錠を供給しました。WHOのLF制圧プログラムを通してLF蔓延72カ国のうち17カ国で制圧が完了(うち4カ国にDEC錠を提供)し、世界のLF感染者数が2000年から74%減少しました。

*GHIT Fund: 公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金

● NTDsへの継続的な支援

2012年に発表されたNTDsの10疾患の制圧に向けた国際官民パートナーシップである「ロンドン宣言」に唯一日本企業として参画し、LFを含むNTDs制圧に取り組んできました。2022年1月27日にロンドン宣言10周年記念イベントが開催され、製薬企業を代表して当社の代表執行役CEO内藤晴夫が登壇しました。そして、NTDs制圧に向けた製薬業界のこれまでの活動やパートナーシップの成果を称え、WHOのNTDsロードマップ2021-2030の達成に向けて、今後もNTDs制圧支援を継続することを表明しました。このイベントは、ロンドン宣言からの10年間の進捗とNTDs制圧に向けた継続的なステークホルダーズの強いコミットメントを確認するとともに、2022年6月にルワンダ共和国の首都キガリで開催予定のCommonwealth Heads of Government Meetingにおいて、ロンドン宣言の後継となる「キガリ宣言」発表に向けた関係者の支持を集めることを目的としています。イベントは、SNS上で大きな反響があり、NTDs制圧の重要性と2030年に向けたコミットメントが幅広いステークホルダーズの間で確認されました。



ロンドン宣言10周年記念イベントの様子

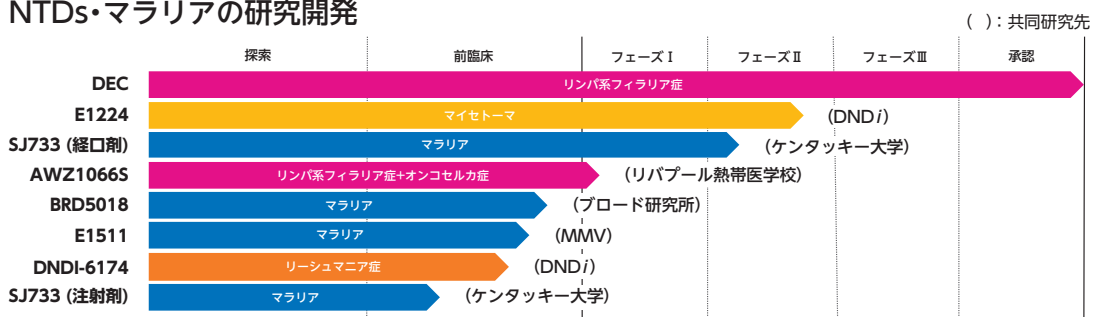
● スーダンにおけるマイセトーマの疾病啓発活動

2019年より、スーダン国内で活動している日本の国際NGO、難民を助ける会(AAR Japan)の支援・協力を行っています。活動開始以来、約100名のマイセトーマ患者様に治療・手術を提供し、2,400人以上の住民への疾病啓発を実施し、現地に貢献してきました。今後は、手術後の患者様への心理的ケアの提供や現地団体・コミュニティの能力強化も含め、より包括的かつ持続可能なソリューションの提供に取り組んでいきます。

● NTDs、マラリアに対する新薬開発

国際研究機関等とのパートナーシップを通じてNTDs、マラリアの新薬開発に積極的に取り組んでいます。GHIT Fundなどからの投資を活用し、大学等の研究者からのアイデアと、DNDi、MMV等の非営利研究組織との共同により、関係者の得意技を持ち寄るパートナーシップでのNTDsの新薬開発を継続しています。

NTDs・マラリアの研究開発



当社ウェブサイト「研究開発」をご参照ください。

▶ <https://www.eisai.co.jp/sustainability/atm/research.html?msckid=d7929474b3ba11ec87b4b43a7588e18e>

●世界NTDの日(World NTD Day)のライトアップキャンペーンへの参画

昨年に続き世界の象徴的な建物をNTDsのシンボルカラーである「オレンジ」と「紫」に灯すイベントが行われ、当社が協賛した東京タワーを含め、世界100カ所の建造物がライトアップされました。このイベントは、NTDsに対する社会の意識高揚をめざしています。国連の持続可能な開発目標(SDGs)およびWHOのNTDsロードマップ2021-2030の達成に向けて、引き続き国内外のパートナーと連携し、NTDs制圧を含む医薬品アクセスの向上に取り組んでいきます。



ライトアップされた各国のランドマーク



ライトアップされた東京タワー

最も顧みられない熱帯病マイセトーマ — 新薬開発への挑戦 —

マイセトーマに対する取り組みは一社だけでは非常に難しい課題ですが、パートナーシップで新薬の開発が成功し、できるだけ早く現地の患者様に届くことを願いを込めて、マイセトーマの現状やパートナーシップによる新薬開発・啓発活動について短い動画を作成しました。

<https://www.eisai.co.jp/company/video/index.html>



●COVID-19下での个人防护具の提供

COVID-19の影響により、NTDs蔓延国において制圧活動の遅れが生じています。LFの制圧のためDEC錠を無償提供しているパプアニューギニアでは、治療薬の集団投与(MDA)の再開に向けて、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、COVID-19の感染対策のためにマスクと手袋を送付しました。この物資はパプアニューギニアの東ニューブリテン州で実施するMDAで活用されました。パプアニューギニア保健省より今回の物資寄贈とこれまでのDEC錠提供によるLF制圧プログラムへの継続的な支援に対する感謝状を受け取りました。



物資を受け取ったJICA パプアニューギニア事務所の皆様、パプアニューギニアの保健省とWHOの現地事務所の方々



当社ウェブサイト「リンパ系フィラリア症への取り組み」をご参照ください。

▶ <https://www.eisai.co.jp/sustainability/atm/medicines/index.html>